

おかやまけんしゃがいふくし

岡山県社会福祉

2024

夏

No.657



浅口市社会福祉協議会によるBCP検証訓練時の様子
(該当記事P.2～3)

特集
special feature

地域に根差したBCP ～浅口市社会福祉協議会の取組～

CONTENTS

県内地域福祉活動の取組レポート	4
県社協ニュース	6
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12



社会福祉法人
岡山県社会福祉協議会
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook @fukushiokayama
Instagram @okayamakenshakyō



地域に根差したBCP 浅口市社会福祉協議会の 取組



BCP策定のポイントと、 浅口市社協の主な取組

①安全ゾーンの確保

災害発生時、社協等の施設内だけでなく、サービス提供エリアの安全ゾーンも検討が必要です。その際、ハザードマップ等の地図を活用しながら、利用者宅のマッピングを行い、可視化することが大切です。

浅口市社協では…

本所、各支所、介護保険事業所それぞれで安全ゾーンを確認し、ハザードマップや写真を活用して可視化。

②電力の確保

電力は生命維持やサーバーへの接続等、必要不可欠な資源です。稼働させたい設備や機材を確認し、必要な電力を計算したうえで、発電機等の購入を検討します。

ポータブル電源を導入。

③職員の連絡手段の検討

災害時には、電話回線が繋がらないこともあるため、職員の連絡手段はWEB回線を使用したものに統一することが大切です。

LINEワークスの活用。

④名寄せ名簿の作成

各事業の利用者情報を1つの名簿にまとめることで、避難の呼びかけや安否確認に活用しやすくなります。また、氏名や住所のほか、利用サービスや安否確認の優先順位等も記入しておくことで、より活用しやすくなります。

介護保険事業の利用者を1つの名簿にまとめ、Googleマップで利用者宅のマッピング。

その他の取組…

●引き渡しカードと確認票の作成

利用者を家族等へ引き渡すために事前に「引き渡しカード(図1)」を作成。

●公用車等の避難場所確保

公用車や職員の私用車が浸水する恐れのある場合、事前に避難場所を検討し、距離と所要時間を確認。近隣施設へ避難させる場合は、協定等により合意しておく。

BCP検証訓練の実施

①災害対策本部の設置

BCPのレイアウトに基づき、実際に机や椅子、地図等を配置し、職員の安否確認を行います。

また、本部と各支所とをオンラインでつなぎ、白地図やホワイトボードを活用しながら被害状況の集約・共有を行います。

②利用者安否確認(電話・訪問)

被害状況の確認後、まずはBCPの安否確認の方法に基づき、電話で利用者の安否確認を行います。

電話で確認ができなかった方は、実際にお宅へ訪問し、不在の場合は「状況カード(*1)」を確認し、BCPの安否確認時のチェック項目に基づいて対応します。

災害時引き渡しカード				
利用者氏名	住所	電話番号	緊急連絡先	備考
住所				
緊急連絡先	氏名	関係	電話番号	
引き渡し者	氏名	関係	電話番号	引き渡し確認
第一引き渡し者				
第二引き渡し者				

図1 災害時引き渡しカード/浅口市社会福祉協議会

災害発生時、市町村社会福祉協議会(以下、社協)は災害ボランティアセンターの運営や地域の要配慮者の支援等、災害福祉支援の中核となることから、適正な法人経営を行いながら支援活動が展開できるよう、災害時の事業継続計画(以下、BCP(※))を策定しておくことが求められています。岡山県社協では令和5年度からモデル社協を指定し、BCP策定検討会への参画・アドバイザー派遣(佛教大学 専任講師 後藤 至功氏)、資料提供等、市町村社協のBCP策定を促す取組を行っています。今回は、BCP策定におけるポイントと、令和5年度に本事業を活用し、BCP策定に取り組んだ浅口市社協の実践をご紹介します。

※BCPとは…大地震等の自然災害、感染症のまん延等、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針・体制・手順等を示した計画のことを指します。

*1「状況カード」とは

利用者の発災時の状況を想定したカードのこと。利用者宅や近隣の被害状況や利用者の避難状況等を記しています。
例「本人不在。近隣住民に居場所を聞くが不明。」「家の南側が浸水。本人は避難所へ避難済み。」等

③ B C P 検証訓練を実施して

訓練の目的は、B C Pの実行性と妥当性を確認することです。

今回の訓練全体を通して、本部のレイアウト変更や集約した情報の表記方法・掲示場所の一元化等、様々な改善点が見つかりました。

これらを再検討し、ブラッシュアップすることで、実際に使えるB C Pとなつていきます。

オンラインで本部と各支所をつなぎ、情報共有を行う



安否確認の方法を確認しながら電話をしている様子



安否確認（訪問）で状況カードを確認する様子



被害状況やその他の関連情報の集約を行っている様子



民生委員が住民の避難状況を伝えに来ている様子



災害対策本部へ安否確認・被害状況の報告を行っている様子

関係機関・団体との協力

災害対策本部や災害ボランティアセンターについて、浅口市社協内での設置が不可能と判断される場合に備え、近隣の公共施設や他団体の敷地内に設置ができるよう、事前に確認し、合意を得ています。

さらに、災害発生時の人員配置について、災害規模による各部署の職員配置数と外部支援者の配置数を検討し、事前に関係機関・団体との協定を結ぶための働きかけを行っています。



金光支所 支所長 小田 義之さん

手探りでB C P策定に当初は戦々恐々でしたが、アドバイザーの後藤先生のご指南により、確実に策定の歩みを進めることができました。

策定を通じて、混乱が避けられない災害に備え、B C Pにより人員、体制、情報、設備などの「資源」を一元的にまとめ、整理しておくことで、災害時にその資源を効率的に活用し、災害が及ぼす事業運営へのさまざまなリスクを軽減させることができるものである、とその意義を実感しました。加えて、地域の方の協力を得て実施した検証訓練から内容を見直せたことで、まさに生きた計画にすることができたと感じています。

今後は、地震を想定したB C Pの策定に取り組みます。災害時に社協が機能しないということは、個々の利用者や地域の「福祉」を止めてしまうこととなります。

「社協B C P」地域「B C P」という矜持を胸に、計画を磨き上げていきたいと思えます。

令和6年度モデル 早島町社会福祉協議会

令和6年度は、早島町社協をモデルとして指定し、B C P策定に取り組んでいただいています。

早島町社協としては、職員の災害（防災）に対する意識を高め、職員全体で早島町社協のB C P策定に取り組むことを目標のひとつとして掲げています。外部講師による職員研修を年3回程度開催し、防災に関する基礎知識やB C P策定に関する項目について、ワークも取り入れながら学びを深める予定としています。



B C Pの策定においては、社協内の検討にとどまらず、「地域のB C P」として、社会福祉法人のネットワーク等の各関係機関・団体とも協議を行い、お互いの役割を確認していくことが重要です。そのような協働の取組こそが、災害時をも見据えた地域包括ケアシステムの構築につながっています。

お問い合わせ先

地域福祉部 経営支援班

☎086-226-3529



中央：山田敦子会長

(取材者) ノートルダム清心女子大学
人間生活学部人間生活学科
3年生 大石心葉さん(左)
3年生 大森心愛さん(右)

今年度は県内で福祉を学ぶ現役大学生が取材・レポートします!

県内地域福祉活動の取組レポート

郷内地区子ども民生委員

(倉敷市児島)

「郷内の子どもは郷内で育てる」
～地域に目を向ける子どもの育成～



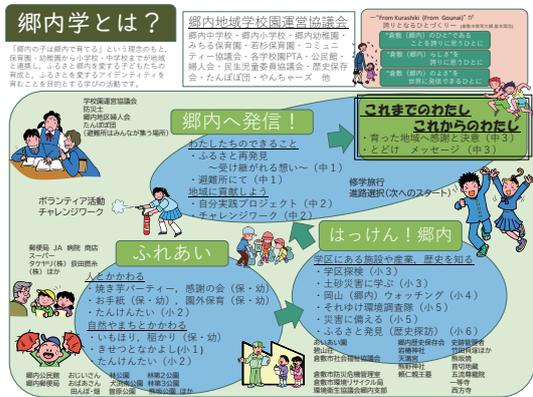
活動に至ったきっかけ

郷内地区子ども民生委員は「郷内学」から生まれました。郷内学は、「郷内の子どもは郷内で育てる」を理念とした、ふるさと郷内を愛する子どもの育成を目的とした学びの活動です。小学校の総合学習の見直しをきっかけに、保幼小中と地域住民等が連携して取り組んでいます。郷内学の取組の一つである「やさしさを広げよう」の学習

民生委員児童委員の担い手確保が全国で課題となる中、各地域では様々な取組が行われています。「子ども民生委員制度」はその中の一つで、地域や福祉への関心を高めながら、民生委員児童委員制度についての理解を深める取組として全国で広まっています。今号では、郷内地区子ども民生委員を立ち上げた郷内地区民生委員児童委員協議会の山田敦子会長にお話を伺いました。山田会長は他県の取組事例を学び、地域に目を向ける子どもの育成を目的に、地域の課題を子どもたちが考え、実践する仕組みを整備しました。この取組は、さらに発展を続けていきます。

子ども民生委員の活動は、小学4年生を対象に、「やさしさを広げよう」の学習、活動参加、活動報告の流れで展開されています。この学習では、民生委員の活動を聞き、その大切さを学びます。お世話になっている地域のためにできることについて意見を出し合い、活動内容を考えます。主な活動は、挨拶運動、民生委員と一緒にお寿司やお餅配り、公園の草取り、互近助パントリーの参加、募金活動、学防災(多世代防災イベント)の参加などです。

現在の活動内容について



保幼小中と地域住民等の連携の図

から、子ども民生委員の活動が始まりました。

子どもたちは活動に取り組むうちに、近所の人への挨拶や運動場の草むしりなどを進んでするようになりました。また、下級生のお手本になろうという思いや、子ども民生委員としての自覚を持つようになり、子どもたち同士で声かけや注意をしあう姿も見られます。活動報告を聞いた下級生たちも、地域とのつながりの大切さに気づき、活動への参加意欲が高まりました。校内あいさつ運動に、誰にでも声をかけ、顔見知りを増やそ

活動の中で感じた変化



活動報告では、子ども民生委員新聞を作成し、子ども民生委員の役割や活動の楽しさを下級生に伝えます。

うと、自覚を持って、取り組む姿が見られるようになりました。

今後について

一番大事なことは活動を続けることです。少子高齢社会の今だからこそ、子どもたちが地域に目を向けることを大切にしていきたいと思えます。今後は、中学生による「少年民生委員」の地域活動を進めていきたいと考えています。子どもたちが地域の一員として自分たちができる活動を続けていくことが、誰もが安心して住み続けられる地域づくりにつながると考えます。

取材を終えて

子どもたちが民生委員という立

◆取材先
郷内地区民生委員児童委員協議会

◆お問い合わせ先
岡山県社会福祉協議会
地域福祉部 地域支援班
☎086-1226-12835

場になることで、地域に良い影響をもたらすだけでなく、積極的に地域の人と関わったり、活動に参加しようという意識の芽生えにも繋がることになりました。この取組は、子どもたちの成長を促すためでもあるということが理解できました。今回の取材の中で、活動を続けていくことが大切だと仰っていたことが印象に残っています。これからも活動が続いていき子ども民生委員の実践が他の地域でも広がっていったら良いと感じました。(大石)

子ども民生委員になることで、登下校の見守りなどで地域の方に毎日お世話になっていることを実感でき、その感謝の気持ちを地域の方に直接恩返しすることができ、このようにお互いが助け合うことで、地域での強いつながりができ、地域への愛が生まれるというのを感じました。私自身も小学生の頃に登下校の見守りや昔遊び体験などで地域の方に沢山お世話になっていたことを思い出しました。当時は気づくことのできなかつた感謝の気持ちを改めて持つことができました。(大森)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
	ケガの補償	死亡保険金	1,040万円
後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
入院保険金日額		6,500円	
手術 入院中の手術		65,000円	
保険金 外来の手術		32,500円	
通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	特定感染症	補償開始日から補償(*)	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



第8次岡山県社協経営・活動計画 地域共生社会の実現に向け、 連携・協働による 「地域の福祉力」を高める ～令和5年度事業報告・決算報告～

【令和5年度における重点的取組の成果】

<p>重点的取組1 【コロナ禍で顕在化した支援を要する世帯に対する相談支援体制の強化】</p>	<p>特例貸付借受世帯の状況把握を進め、それにより把握できた要支援世帯に対し、市町村社協を通じて課題解決や生活再建に向けた支援に取り組みました。</p>
<p>重点的取組2 【市町村域における災害時福祉支援活動の展開】</p>	<p>災害ボランティア・復興支援センターの整備や連携・協働の仕組みづくりについての理解が進み、協働の仕組み構築事業に取り組み社協の指定を行いました。</p>
<p>重点的取組3 【福祉人材の定着・確保、誰もが働きやすい職場環境づくり】</p>	<p>介護の入門的研修、介護アシスタント事業の一体的実施により介護人材の裾野を広げることにつながりました。 すまいる宣言制度の認知度アップに取り組み、登録法人の増加につなげました。</p>

令和5年度は、5か年計画である「第8次岡山県社協経営・活動計画」の初年度として、4つの経営・活動方針に基づき、事業を推進しました。なお、地域社会や県社協を取り巻く環境が大きく変化している中、地域共生社会の実現に向け、連携・協働による「地域の福祉力」を高めるため、3つの重点的取組事項を部署横断的に最優先に取り組みました。

経営・活動方針1

住民主体の地域福祉活動を支える基盤づくりを推進します

目標達成率 99%

〔主な成果〕

◆地域福祉推進委員会との協働のもと、市町村社協の基盤強化に向けて、会長会議等により、役員が一体となった取組や、中期経営計画の策定を推進しました。

◆住民主体の地域福祉活動を支える基盤整備に向けて、社協ボランティア・NPOセンター活動強化方策2024を策定しました。

◆地域福祉実践研修を通じて、個と地域の一体的支援の理解促進並びに人材育成に取り組みました。

◆市町村行政に対し、市町村域における災害ボランティアと被災者見守り・相談支援を一体的に行う体制構築への働きかけを進めました。

◆包括的な支援体制の構築に向けて、重層的支援体制整備事業後方支援事業を受託し、多様な主体とのつながりや、連携・協働に向けた取組促進に努めました。



経営・活動方針2

生活に関する包括的な相談・支援体制を推進します

目標達成率 106%

〔主な成果〕

◆コロナ禍で顕在化した支援を要する世帯に対し、市町村社協を通じて生活課題の把握に努めるとともに、課題解決や生活再建に向けた支援に取り組みました。

◆生活困窮者との信頼関係の構築や的確なニーズ把握を行う相談員の資質向上を図りました。

◆成年後見制度を利用できる地域体制の構築に向け、会議等で関係機関との連携および支援状況等の共有を行いました。

経営・活動方針3

福祉サービス事業者を支援、質の高い福祉人材の確保・定着を推進します

目標達成率 102%

〔主な成果〕

◆福祉サービス事業者の経営支援では、社会福祉法人の経営課題や

※経営・活動方針の〔目標達成率〕= 達成上限120% 各方針の目標項目の下位にあたる事業単年度評価（事業達成率）の平均を合計したものです。なお、事業単年度評価は、基礎点70点、加算点50点の120点を上限としています。

◆〔主な成果〕
 法人経営の基盤強化を図るため、資金管理会議において各種積立金の運用方法を協議するとともに積立財源の有効活用に努めました。
 ◆新たなグループウェア（局内情報共有システム）および勤怠管理システムの導入を検討し、局内連携体制機能の強化や職場環境の整備に努めました。

目標達成率

90%

法人経営・運営組織の機能を強化します

経営・活動方針4

◆介護の入門的研修と地区別での福祉の仕事ミニ就職相談会の一体的な実施や、介護アシスタント事業の実施により、多様な福祉人材の確保に取り組みました。
 ◆福祉・介護人材確保対策推進協議会を中心に、福祉・介護魅力発信プロジェクトを展開し、FMラジオ番組制作やYouTubeでの配信、介護フェス等イベント実施に取り組みました。

法人資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位:円)

会計並びに拠点区分名	収入決算額	支出決算額
一般会計	4,261,541,350	3,559,677,380
社会福祉事業区分	410,404,643	378,167,238
公益事業区分	3,840,143,971	3,170,327,466
収益事業区分	10,992,736	11,182,676
生活福祉資金会計	8,907,338,774	5,465,384,531
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	86,821,830	12,061,417
生活福祉資金貸付事務費会計	8,173,988,780	7,844,132,590
臨時特例つなぎ資金会計	368,808	1,083

※収入決算額には、前期末支払資金残高を含み、内部取引消去前の金額を示す。

法人事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位:円)

会計並びに拠点区分名	収益決算額	費用決算額
一般会計	2,915,450,698	2,752,254,670
社会福祉事業拠点区分	436,159,876	426,893,503
公益事業	2,467,838,129	2,314,170,924
収益事業	11,452,693	11,190,243
生活福祉資金会計	7,880,589,561	8,106,198,720
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	4,086,380	4,096,380
生活福祉資金貸付事務費会計	8,195,557,341	7,875,540,566
臨時特例つなぎ資金会計	△54,426,192	1,083

※収益決算額には、前期繰越活動増減差額、国庫補助金等特別積立金取崩額、その他の積立金取崩額を含み、費用決算額には、その他の積立金積立額等を含む。

一般会計貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	728,472,857	流動負債	46,128,827
固定資産	20,522,965,269	固定負債	18,370,381,561
基本財産	30,000,000	負債の部合計	18,416,510,388
その他の固定資産	20,492,965,269	純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	1,146,463,246
		その他の積立金	1,525,268,464
		次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額)	163,196,028(△66,609,467)
		純資産の部合計	2,834,927,738
資産の部合計	21,251,438,126	負債及び純資産の部合計	21,251,438,126

※流動資産には、商品・製品額等を含み、流動負債には、賞与引当金等を含む。

特別会計貸借対照表(4会計合算)

令和6年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,863,304,298	流動負債	16,365,727
固定資産	24,452,661,393	固定負債	49,408,278
その他の固定資産	24,452,661,393	負債の部合計	65,774,005
		純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	21,154,343,925
		その他の積立金	7,055,867,420
		次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額)	39,980,341(13,610,258,914)
		純資産の部合計	28,250,191,686
資産の部合計	28,315,965,691	負債及び純資産の部合計	28,315,965,691

閲覧可能

事業報告書、決算書は、本会ホームページ (<http://www.fukushiokayama.or.jp/>) または本会事務所において閲覧することができます。
 【お問い合わせ先】 岡山県社会福祉協議会 総務企画部 (TEL. 086-226-2822)

2025年度生(2025年4月1日学習開始)9月1日より受付開始!

社会福祉学科 社会福祉士養成 通信課程

西日本で唯一の一般養成課程(1年コース)
 ※公益財団法人社会福祉振興・試験センター調べ

一般養成課程(1年6ヶ月コース)

一般養成課程(1年コース)

短期養成課程(9ヶ月コース)

精神保健福祉学科 精神保健福祉士養成 通信課程

一般養成課程(1年7ヶ月コース)

短期養成課程(9ヶ月コース)



教育訓練給付制度 対象講座



詳しくは QRコードから HPをごらんください。

好きを極めてプロになる



専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ

〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10

TEL.087-873-2455

岡山県社会福祉協議会

役員等就任のお知らせ

1. 評議員会選任・解任委員会 委員

委員の任期満了に伴い、令和6年6月12日開催の令和6年度第1回理事会において選任されました。
 (任期) 令和6年6月28日～令和10年度定時評議員会の終結の時まで

氏名	所属
平松 卓雄	(社福) 岡山県社会福祉協議会 (監事)
岡 智明	(社福) 岡山県社会福祉協議会 (事務局長)
岡野 敏郎	(社福) 倉敷市社会福祉協議会
小寺 紀孝	(社福) 岡山県共同募金会
山本 浩史	新見公立大学 健康科学部

2. 理事

理事に異動がありましたので、令和6年6月28日開催の令和6年度定時評議員会において新たに選任されました。
 (任期) 令和6年6月28日～令和7年度定時評議員会の終結の時まで

氏名	所属
江見 肇	(社福) 山陽新聞社会事業団

任期満了まで、どうぞよろしくお願ひいたします。

【お問い合わせ先】

総務企画部

☎086-226-2822



令和6年度福祉従事者研修計画一覧(8月以降開催分)

事業名	開催日	開催場所(方法)
キャリアパス対応生涯研修課程【中堅職員】	8月21日 22日	きらめきプラザ
キャリアパス対応生涯研修課程【チームリーダー】	10月22日 23日	きらめきプラザ
キャリアパス対応生涯研修課程【管理職員】	11月13日 14日	きらめきプラザ
チームリーダー重点テーマ強化研修	8月23日	きらめきプラザ
中堅職員重点テーマ強化研修	9月12日	きらめきプラザ
リスクマネジメント研修	10月2日	きらめきプラザ
苦情対応研修	10月8日	きらめきプラザ
ストレスマネジメント研修	10月9日	きらめきプラザ
BCPフォローアップ研修	10月29日	きらめきプラザ
管理職員重点テーマ強化研修	10月30日	きらめきプラザ
業務改善研修	11月21日	きらめきプラザ
メンタルヘルス推進担当者研修	12月3日	きらめきプラザ

事業名	開催日	開催場所(方法)
認知症介護実践研修(実践者研修)	7月～10月 (6日間×2日程)	きらめきプラザ
認知症対応型サービス事業開設者研修	9月8日	きらめきプラザ
認知症対応型サービス事業管理者研修	① 9月18日 19日 ② 11月26日 27日 ③ 2月6日 7日	きらめきプラザ
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	10月24日 25日	きらめきプラザ
介護支援専門員実務・更新(未経験者向け)・再研修	実務) R7年1月～5月(14日間) 更新(未)・再) R7年1月～3月(9日間)	オンライン+ きらめきプラザ

開催日・開催方法等が変更される場合がありますので、詳細は岡山県社会福祉協議会ホームページでご確認ください。

【お問い合わせ先】

福祉人材支援班

☎086-226-2888

どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導!

経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方

Q 役員選任には監事の同意が必要?

Q 監事は評議員会に出席する義務があるの?

Q 賞与引当金は必ずしなげやだめなの?

悩み・疑問を一斉解決!

急な指導監査でも...

・慌てない
・困らない
・揉めない



SCB社福サポート担当 いしはら

●岡山県運営適正化委員会委員

分野及び委員氏名（敬称略）		監視	苦情
公益代表	平松 正臣（岡山ビジネスカレッジ非常勤講師）		○
	山本 浩史（新見公立大学教授）		○
	片岡加代子（元 岡山市立南方保育園長）		○
	竹中 理香（川崎医療福祉大学教授）	○	
	木村 俊之（岡山県子ども・福祉部次長）		○
利用者代表	安藤 光徳（認知症の人と家族の会 岡山県支部代表）	○	
サービス提供者代表	小林 大輔（岡山県知的障害者福祉協会会長）	○	
法律	鈴木 大士（弁護士）	○	○
	小川 洋（公認会計士）	○	
	中西 崇陽（公認会計士）	○	
	岡 友和（公認会計士）	○	
医療	塚本 千秋（岡山県精神科医療センター医監）	○	○
	中山 真（岡山県精神保健福祉士協会副会長）	○	

●選考委員会委員

分野及び委員氏名（敬称略）	
公益代表	安達 悦子（一般社団 岡山県介護福祉士会）
	角銅 勇二（岡山県民生委員児童委員協議会）
利用者代表	阪井ひとみ（NPO 岡山県精神障害者家族会連合会）
	關野 茂夫（一般社団 岡山県手をつなぐ育成会）
経営者代表	筒井 恵子（社福 鴻仁福祉会 / 岡山県社会福祉法人経営者協議会）
	中桐 泰（社福 倉敷市社会福祉協議会）

「岡山県運営適正化委員会」

委員が選任されました

7月4日に「岡山県運営適正化委員会」委員の選考に係る「選考委員会」を開催し、県社協会長が選考・提案した委員候補者について、選考委員の審議のもと、委員を選任いたしました。

委員定数は13名で、任期は令和6年7月18日から2年間となっております。

助事業（日常生活自立支援事業）の運営監視を行う「運営監視合議体」と福祉サービスの苦情解決にあたる「苦情解決合議体」に編成して活動いたします。

なお、委員の選考にあたる選考委員会委員は、広く住民に対し公示した後、選任いたしました。任期は令和6年7月1日から2年間となっております。

令和5年度福祉サービスに関する苦情・相談状況

岡山県運営適正化委員会

岡山県運営適正化委員会では、福祉サービス利用者等からの苦情・相談を受け付け、解決に向けて支援を行っています。

令和5年度に本会で受け付けた福祉サービスに関する苦情件数は55件（4年度82件）、苦情に満たない相談件数は52件（4年度45件）で、苦情件数は若干減少したものの、継続的に多くの苦情・相談が寄せられています。

苦情受付のサービス種別は、障害者関係が33件と6割を占めており、続いて、児童関係11件、高齢関係7件、その他4件でした。

また、主な苦情内容は、職員の接遇やサービスの質や量に関するものが約7割を占めています。

◆ 苦情の申出・ご相談は
岡山県運営適正化委員会
086-2226-19400

旅行研修のご相談は **Tikiナビ** まで **トラベル**

Tiki Tikiナビトラベル ☎086-261-1550

岡山市南区洲崎2-6-33 定休日：土日祝日
FAX: 086-261-8011 岡山県知事登録2-388
営業時間：9:30～18:30 総合旅行業務取扱管理者：加藤大毅

お車の共済のことなら!

西日本自動車共済協同組合

お見積り、事故のご相談、すべて無料！
お気軽にご連絡下さい。

岡山県支部
〒700-0927 岡山市北区西古松 237-126 松本ビル 3F
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵 2-15-25
TEL: 092-441-5901

NJ730.2103.0213.999999

Okayama福祉・介護
魅力発信アンバサダー就任！
土師伊久美さん
(岡山県出身声楽家・声優)

岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会(事務局:岡山県社会福祉協議会)では、令和6年度、若年層を中心としたより多くの方に福祉・介護職の魅力をお届けするため、「Okayama福祉・介護魅力発信アンバサダー」に岡山県出身声楽家土師伊久美さん(はじいくみ)さんに就任していただきます。

土師伊久美さんの笑顔とともに、福祉の仕事の魅力を伝え、福祉人材確保を推進するキャンペーンを関係機関と連携し実施展開します。

5月19日開催アンバサダー就任委嘱式終了後、土師伊久美さんにお話を伺いました。

福祉・介護のイメージは？

学生時代、教員免許取得のための施設で介護等体験(介護実習)を行いました。その時、職員さんが「利用者さんの笑顔を見ると今日も一日頑張ったよかったです」と仰っていたことが印象に残っています。利用者さん、ご家

族、職員同士等、常にコミュニケーションを交わし、毎日色々なことが起きる環境だからこそ得られる「喜び」や「発見」があるイメージです。

5/19就任式後、第1回ラジオ番組「Smile cafe」公開収録を終え！

第1回ということで緊張しましたが、ゲスト出演された施設職員さんがお話された利用者さんとの関わり方など気になる話題やワイドを掴んで、淵本恭子さんの心強い進行のもと、番組を進めていくことができたと思います。友人やファンの方の中に、福祉・介護関係のお仕事をしている方がいらっしやうって、アンバサダー就任報告をSNSでした際は反響が想像以上に大きく、嬉しかったです。

アンバサダーとしての意気込み

福祉・介護の魅力を岡山県から全国へ発信し、特に若い世代の方に、大切な人が、福祉・介護が必要になった時、このアンバサダーで発信していくことが何かの役に立てるよう、私も一緒に学びつつ活動をしていきたいと思っています！



岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会 赤島会長(左)、土師伊久美さん(右)

◆アンバサダー土師伊久美さんのプロフィールや活動内容は、WEBサイトやSNSをご覧ください。
【WEBサイト】
Okayama福祉・介護フェス2024
(okayama-fukushikaigo.jp)

Okayama福祉・介護フェス
2024は11月11日介護の日
イベント開催します！

【日程】令和6年11月11日(日)17日
【会場】エキチカ広場
【内容】「Smile cafe」ラジオ公開収録トークショー、福祉機器体験、ワークショップ等。最新情報はWEBサイトをご確認ください。

◆お問い合わせ先
岡山県福祉人材センター
086-2226-3507

社会福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年6カ月)



▶スクーリングはJR福山駅から徒歩8分の穴吹カレッジ東町校舎で行います。
▶教育訓練給付制度については、担当までお問い合わせください。

進学説明会
8月25日(日) 10:00~12:00
9月29日(日) 10:00~12:00

場所は東町校舎で実施します。学習内容や実習等について詳しく説明し、個別相談を行います。事前予約は不要です。左記以外の日程については、Webサイトをご確認ください。進学説明会の日程以外でも随時、ご相談に応じています。

2025年度生 願書受付中
学校法人 穴吹学園
穴吹国際みらい専門学校



TEL:084-931-6857

〒720-0052 広島県福山市東町2-3-6

詳しくはQRコードからWebサイトをご覧ください

赤い羽根共同募金



今年も10月1日から全国一斉に共同募金運動を展開いたします。
皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

岡山県共同募金会



赤い羽根共同募金運動は、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、皆さんが暮らしている地域の福祉活動に必要な資金を集める民間の募金運動です。

お寄せいただいた寄付金は、社会福祉協議会や福祉団体、NPO法人等の地域福祉活動や福祉施設の備品整備などを支援する貴重な財源となっています。

支える人も 支える募金



じぶんの町に、困っている人がいる。その人たちが一番必要としているもの、それは人のチカラです。手をとって、支えてくれる人の存在です。

では、その活動資金は、どうしましょう。

赤い羽根共同募金は、困っている人を「支える人を支える募金」。それが、赤い羽根の役割なのです。



ありがとうメッセージ（令和5年度助成事業）



路上生活者及び生活困窮者に対する支援活動 特定非営利活動法人岡山きずな（岡山市）

いただいた助成金で、路上生活を送ることを余儀なくされている方、生活に困窮されている方へ軽食をお渡ししたり、厳しい寒さをしのぐために暖をとるための寝袋やカイロをお渡しし、応急的にはありますが、命をつなぐ活動を行うことができました。

今後もこの活動を発展させ、生活に困っている多くの方を支援できるよう頑張っていきます。ありがとうございました。



支援活動の様子



保育園のテラスシート整備 真備かなりや認定こども園（倉敷市）

この度助成金で園屋上のテラスシートを新しくさせていただきました。これまであった人工芝シートは老朽化してしまい、表面が剥がれ夏場は熱を吸収して高温になったりと、自由に遊べる環境ではなくなっていました。新しくクッション性が高く遮熱性も高いシートを張ったことで、子どもたちが安全に遊べるようになりました。皆様の善意のおかげです。本当にありがとうございました。



整備したテラスシート



株式会社アークリード
アークテクノサービス

福祉用具専門相談員 藤井 直人さん

～関わる人の思いに寄り添いながら、
繋がりを大切に～



●福祉用具専門相談員…福祉用具を利用する利用者や家族に対して心身の状態や使用環境などから、適切な用具の選び方や使い方を説明したり、アドバイスしたりする専門職

現在の仕事に就いたきっかけを教えてください

元々、運動が好きで、大学で健康や運動のことを学び、地元岡山で運動指導員として健康教室や障害者スポーツに関わる仕事に就きました。その後、学んだことや経験を活かしたいと思い福祉用具メーカーに入職し、全国で福祉用具の適切な利用方法を伝える研修等を行っていました。地元岡山で福祉用具に関わる仕事をする、現在の会社に入職しました。

現在の仕事内容について教えてください

福祉用具専門相談員として、使用される方の状態に応じた用具の選定や使い方の適切な助言等を行っています。様々な病気や家庭の事情もある中で、福祉用具や環境調整で「外出ができるようになった」「褥瘡じょくそうが治った」「トイレに行けるようになった」など嬉しい言葉をいただけるのがやりがいとなっています。また、福祉用具は、スキルや知識量が信頼に繋がる仕事だと思っています。どう工夫しながら改善していくか「気づく力」を意識して専門職間での連携や、ご家族の思いに寄り添いながら、日々仕事に取り組んでいます。また、病院・施設でのポジションング等、福祉用具に関する研修

会を実施し、岡山の医療・福祉に関わる方のスキルアップのお手伝いをさせていただいています。研修では、難しい話よりも身近な例えで分かりやすく、そして実体験を通して、利用者の気持ちになってもらうことや、誰もができる簡単なやり方を伝えるよう心がけています。研修を通して、多くの方に出会い、繋がりが持てることもやりがいの一つとなっています。

今後について

自身の経験や学んできたことが、医療・福祉に関わる方へ少しでも伝わり、利用者だけでなく家族も「良いケアができた」「良い看取りだった」と思ってもらえるように関わっていきたくと思っています。また、研修会等を通して岡山県内関係者のスキルの底上げを図り、その先にいる利用者、家族が幸せになってもらえるだけでなく、医療・福祉業界で働く方もやりがいと自信を持って働けるよう活動していきたいと思っています。

【お問い合わせ先】
株式会社アークリード
アークテクノサービス
● 岡山市南区新保1-3-14-1
ディアリオB-1
☎ 086-1250-12555



機関紙「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください!

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階

岡山県社会福祉協議会 広報班

■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

